

事業所名	アシスト くりの木		支援プログラム (参考様式)	作成日	2026 年	1 月	20 日	
法人 (事業所) 理念	【未来の安心を創造する】利用者・職員・その家族からあらゆる不安を取り除き・利用者・その家族の人生の伴走者になり、良いときも悪いときも一緒に悩み、喜び、成長をしていき、振り返ったときに、良かった、楽しかったと思えるように日々支援をしていきたいと思います。							
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児・障がい者の方の可能性を無限大にする。 スタッフの笑顔が利用者の方の笑顔につながる。 障害を持たれた方の人生をサポートする。 							
営業時間	平日	10 時	30 分	18 時	00 分	送迎実施の有無 あり なし		
	学校休業日	9 時	30 分	17 時	0 分			
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	自己管理スキルの向上：睡眠や食事など生活リズムの整え方を学ぶための記録シートの活用や話し合い。手洗い、うがい、歯磨きなどの衛生習慣を実践する時間を設け、正しい方法を支援。 自立訓練：放課後等デイサービスや職場への「通勤ルート」を考える練習。スケジュール管理訓練を行い、時間の区切りや優先順位を意識し、自分で計画を立てる力を養う。基本的な金銭感覚を身につける（実物の硬貨や紙幣、またはレプリカを使い、計算練習や買い物シミュレーションを行う。「お釣りの計算」「予算内で商品を選ぶ」などの課題を設定。買い物リストを作成し、必要な金額を事前に計算する練習。）くりの木カフェも不定期で行い、注文の取り方、商品の提供、金銭の受け渡しを実際に保護者のみなさんや学校の先生を招いて行うことにより実践的な学びの場の提供を行っている。						
	運動・感覚	運動能力の向上：身体能力に応じた運動プログラム（ストレッチ、体幹トレーニング、リズム体操など）を実施。バランス感覚や協調性を養うゲーム（例：ボール運び、障害物レース）。視覚・認知+運動→視覚情報を適切に認識し体を動かすライフキネティックを行い、視覚から認知のズレを修正し、脳機能改善を行うプログラムを導入。 感覚統合の支援：感覚処理の向上を目的としたアート活動や創作活動（粘土遊び、絵画）。創作に用いる各種、文房具を使うことによる微細運動を促していく。						
	認知・行動	計画力や問題解決能力の強化：日常生活におけるスケジュール管理練習（チェックリストやカレンダーを使用）。 問題解決のステップを学ぶプログラム（具体例：トラブル対応のロールプレイ）。 感情コントロールと自己調整力：怒りや不安をコントロールする練習（呼吸法、リラクゼーション活動）。自分の気持ちを表現し、他者に伝える練習（気分記録カードや感情表現ゲーム）。						
	言語コミュニケーション	言語表現能力の向上：語彙力を増やすためのカードゲームやストーリーテリング活動。 意思を伝える練習（例：伝言ゲームやペアワークでの会話練習）。 非言語コミュニケーションの学習：アイコンタクトやジェスチャーを用いたコミュニケーション活動。表情や声のトーンで気持ちを伝える練習。						
	人間関係社会性	チームワークの練習：グループ活動や共同制作を通じて協力する経験を積む（例：チームでのクイズ大会、料理活動）。 役割分担と責任感を育てるための課題活動（例：掃除の分担、プロジェクト制作）。 社会的ルールの理解と実践：挨拶や順番待ちなど、日常的な社会的マナーを実践する場面を設定。 模擬的な職場体験（くりの木カフェ：接客・金銭管理・商品提供）						
家族支援	<p>情報提供と相談支援 定期的な保護者面談 お子さまの支援状況や課題、成長について保護者と共有し、家庭での対応方法について相談します。 専門家からのアドバイス 必要に応じて、心理士、などの専門職による保護者向けのアドバイスや相談会を実施します。 地域資源の紹介 福祉サービス、療育機関、就労支援サービスなど、利用可能な地域の支援機関を紹介し、家庭での対応方法の指導 子どもへの接し方のアドバイス 行動面、コミュニケーション面での課題に対し、適切な対応方法を伝えます。 例えば、生活習慣を整えるための具体的な支援。 具体的なスキル練習の提案 家庭で取り組める課題（例：金銭感覚を養うための買い物練習、時間の管理など）を提供し、実践をサポートします。 心理的サポート カウンセリングの提供 子育てのストレスや悩みを軽減するため、保護者向けの個別カウンセリングを実施します。 ペアレントトレーニング お子さまの行動を理解し、適切に対応するためのトレーニングを行います。実践的な内容で、家庭での育児ストレスを軽減します。</p>			移行支援	<p>移行計画の作成と定期的な見直し 年に1回、関係機関（学校、相談支援事業所、就労支援機関）と合同でカンファレンスを実施します。 学校や保護者との連携強化 定期的に保護者面談を実施し、進路希望や不安点を確認します。 学校訪問を行い、学校の先生と情報共有します。 学校での実態と放課後デイでの様子を共有し、一貫性のある支援を行います。 職業体験やアルバイト練習の機会提供 施設内での「お仕事体験」（掃除、荷物整理、受付対応など） 企業や作業所と連携し、短時間の職業体験を実施します。 進学・就職の情報提供と見学の機会 卒業生の就職場所等の情報の提供を行います。 移行後のフォローアップ支援 必要に応じて、進学・就職先と情報共有し、支援を継続します。 先輩の体験談を共有し、新たな環境に適応しやすく情報共有します。</p>			
地域支援・地域連携	<p>地域の学校との連携強化 特別支援教育コーディネーターや担任と定期的な情報共有会を開催 学校での個別支援会議やケース会議に参加しましょう 先生向けの障がい理解・支援研修の提供をしましょう 他事業所（相談支援・訪問看護・療育施設など）との連携 定期的な事業所間の合同研修・意見交換会の実施しましょう。 必要に応じて、連携支援計画を立てましょう。 地域の障害児支援ネットワークの構築していきましょう。 地域の企業と連携した職業体験・社会参加支援 軽作業や接客体験を提供しましょう。 地域の福祉作業所や就労支援施設と連携し、進路相談の機会を作りましょう。 高校生向けにアルバイト・インターンの受け入れ窓口を整備しましょう。 福祉・医療機関との連携 作業療法士・言語聴覚士・心理士などと連携した支援プログラムの提供 障がい児支援に関する最新情報を共有し、質の高い支援を実施</p>			職員の質の向上	<p>定期的な研修の実施 障害特性の理解、支援技術の向上、応急対応、法制度の変更などについて、月1回の勉強会や外部研修を実施します。 OJT（オン・ザ・ジョブ・トレーニング）の充実 ベテラン指導員によるマンツーマン指導を導入し、実際の支援場面での対応を学ぶ機会を増やします。 事例検討会の開催 児童ごとの支援方法について意見交換する場を設け、チーム全体で支援の質を高めます。 スーパービジョンの導入 外部の専門家（心理士、作業療法士、ソーシャルワーカーなど）による指導を受ける機会を作ります。 振り返りとフィードバックの強化 日々の支援の振り返りを行い、他の指導員や管理者からのフィードバックを受けて成長できる環境を整えます。 マニュアルの整備と更新 新人向けの基本マニュアルと、実践的な事例をまとめた応用マニュアルを整備し、定期的にアップデートします。 ICT（情報通信技術）の活用 個別支援計画や日報の作成を効率化するためのアプリ導入や、オンライン研修の活用を推進します。 職員間のコミュニケーション促進 チームミーティングや意見交換の場を設け、指導員同士が互いに学び合える環境を作ります。 保護者・地域との連携強化 保護者との情報共有を密にし、地域の支援者や関係機関と協力しながら、</p>			
主な行事等	春（4月～6月） 入学・進級お祝い会 お花見 こどもの日イベント（鯉のぼり制作、ゲーム） 母の日・父の日制作（プレゼント作り） 避難訓練（地震・火災など） カヌー交流会	夏（7月～9月） 七夕イベント（短冊作り、飾りつけ） 夏祭り（屋台遊び、ヨーヨー釣りなど） 水遊び すいか割り 校外学習（公園・遊園地・工場見学等） カフェ・カラオケ体験	秋（10月～12月） 運動会（ミニ競技、リレーなど） ハロウィンイベント（仮装・お菓子配り） 避難訓練（津波・台風など） 紅葉狩り クリスマス会（ミニゲーム・ワークショップ きつぷりDJ・パザー）	冬（1月～3月） 新年会（書き初め、お餅つき） 節分イベント（豆まき、鬼のお面作り） ひな祭イベント（ひな人形制作・チラン寿） お別れ会（卒業の送別会）				